

## H28. 7. 24キッズランドやちよ保護者懇談会記録

「公私連携による両キッズランドの運営(民営化)について」

平成28年7月24日(日) 09:00～10:10  
キッズランドやちよ遊戯室

出席者：保護者4名、町議1名

事務局：岸原教育長、こども未来課 今中、市位

内容：教育長あいさつ

こども未来課から資料Q&Aによる説明

意見交換会

### ■主な意見と内容

- ・民営化になって、公立の正職員が抜けられた後は、どうされるのか。  
→嘱託の保育士・幼稚園教諭の皆さんにはほとんど残っていただく計画で、正職員については園長と1～2名の保育教諭に町からの派遣という立場で2～3年間は残っていただこうと考えている。運営が落ち着くまでは園のトップは公立の職員を置き、主導していきたいと考えている。
- ・公私連携の協定期間は何年間なのか。  
→協定はずっと続く予定であるが、協定書自体はとりあえず10年間とし、10年経過したときに内容の見直しをかけようと思っている。
- ・民営化をすれば国県から手厚い補助金を受けることができるとあるが、どのようなことに使うのか。  
→まず町にとって経費節減できた分は、保護者の皆さんに対して保育料の軽減という形で還元したいと考えている。また、法人については特色ある教育・保育に使っていただくよう指導していきたい。国は「民でできることは民で」の考え方のもと民営化を推進しているので、国の方針に沿って補助金を受けることを考えている。
- ・受ける法人は、町内法人か。かみもやちよも、同じ法人になるのか。  
→できるだけ町内の社会福祉法人に受けていただきたいと考えている。受ける法人は別々の法人になるかもしれないし、同じ法人になるかもしれない。保護者、地域の方を含めた選定委員会で決めていただく。
- ・嘱託の先生になんとか残ってほしい。慣れ親しんだ先生が、いつの間にか辞めてしまったことがある。保育士の賃金アップは計画されているか。  
→ここ数年間、民間園からの引き抜きにより多くの保育士・幼稚園教諭の皆さんが辞められた。嘱託の先生方には全員になんとか残っていただくように、調整していきたいと考えている。民間園においてはここ数年、処遇改善が顕著に行われており、公立園も今年から少しずつ賃金アップを図っている。民営化後も保育教諭の賃金アップについて、町と法人が一緒に考えていくことが大切であると認識している。
- ・民営化になって、法人のカラーに染まることはないか。保護者の意見はどんなふうに取り入れられるのか。  
→公私連携方式なので、町の意見はしっかり言っていくつもりである。年2回の園訪問指導のほかに、三者懇談会(町・法人・保護者)を定期的に開催していき、保護者の皆さんの意見は大切にしていきたいと考えている。保護者と法人の間に町が立ち、保護者の皆さんの意見は法人に対して伝える姿勢で臨んでいく。
- ・ずっと公立園長に残っていただくことは無理なのか。  
→町が給与負担し公立園長の派遣をずっと続けることはできない。数年後には民間法人の園長が就任されることになる。